

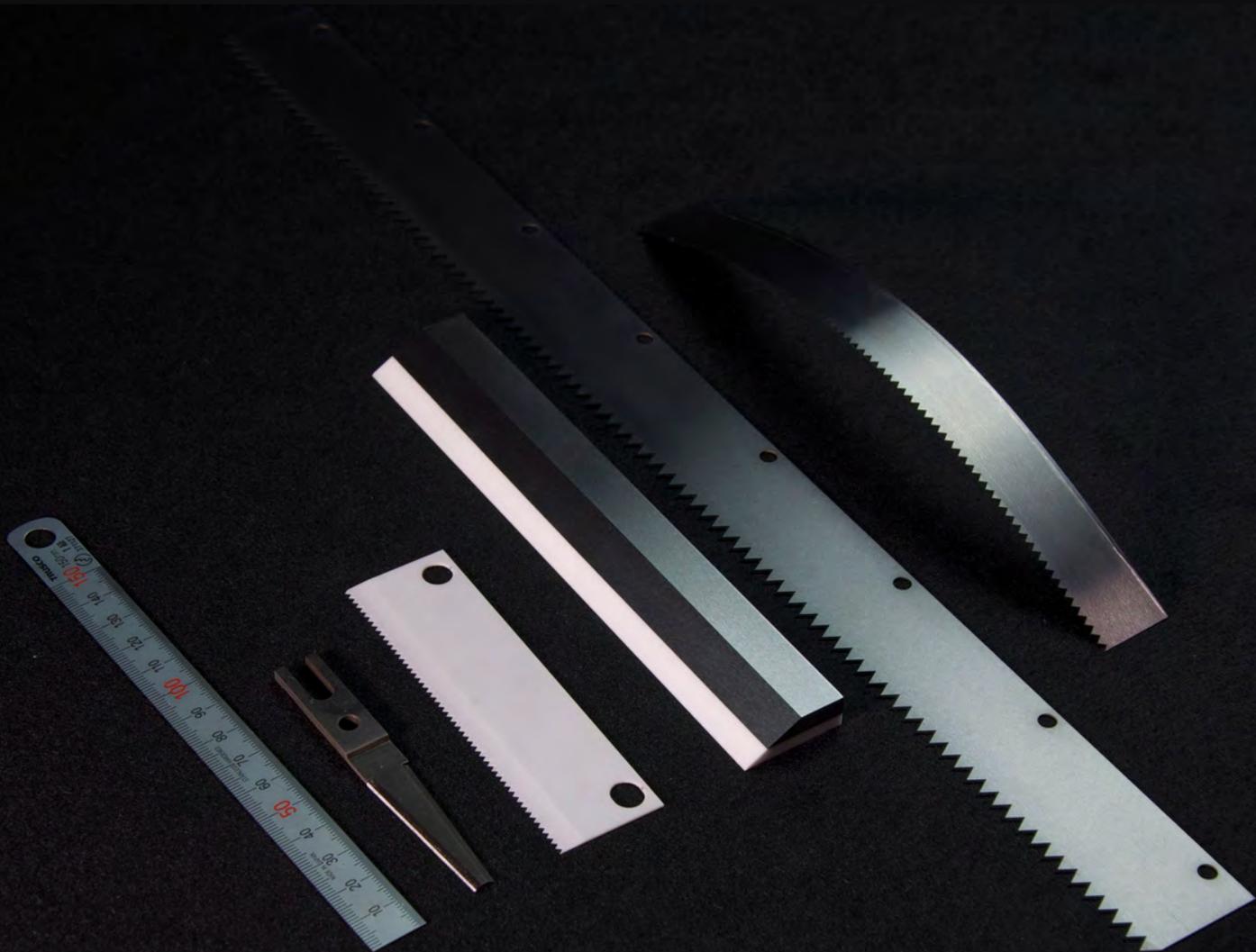
# NISHIHARA

# SEIKO

TOPIC

Nishihara  
Akihide

「時代とともに変化し、  
受け継がれてきた技。」



# 長寿命には理由がある。

## ■ 西原精工



2021年に創業100年を迎え、精密部品を加工するための治具や工具、産業用の刃物などを製作しています。同社が扱う治具は通常なら1000分の5ミリほどの誤差が生じるところを1000分の2ミリまで抑えることが可能です。

### 次の100年へ向かう

大正10年、メリヤス針メーカーとして創業しました。西原某大小(メリヤス)針製造所。「某大小」はメリヤスが伸縮性に富む素材であることから生まれた漢字で、この生地で作った衣類は伸縮自在で大小いずれのサイズにも対応できたことが由来となっています。当時から伸縮性に富み、柔軟性のある製品への「ものづくり」に携わってきたことが伺えます。オイルショックの影響によりメリヤス針の製造から撤退せざるを得なくなりましたが、それまで培ってきた自社

用精密治工具の研磨技術を生かしプリント基板への実装機部品メーカーとして生まれ変わることができました。その後、西原精工株式会社へと社名変更し、今日ではスマートフォンなどの精密機器製造において欠かすことのできない精密部品メーカーとして、目まぐるしく変化する日本の製造業に携わるお客様のニーズにお応えするため量産ではなく1個から多品種少量に特化し、柔軟に対応できる体制を作り上げてきました。

# 長持ち考え 作り込む



上の写真は精密バイスと言い、製造工程において対象物を固定し位置決めを行い、検査工程で基準となる治具です。治具は作業効率や製品の完成度を大きく左右し、モノづくりに欠かせません。また産

業用刃物の製作も力を入れ、多種多様な用途に応じています。鋼の約20倍の強度がある超硬合金やダイヤモンドなどを刃先にロウ付けして長持ちさせるのは、メンテナンス時の生産ライン停止を減らしたいメーカーにとって大きな手助けとなります。西原社長は、「もうけるためには寿命の短いものを作り頻繁に取り替えてもらう方がいいし、『持続可能性』が注目されるようになったが、昔から長く使ってもらうことを第一に考えてやってきたので…」と話されました。

## Q&A

Q1 「長寿命」にこだわる理由はなんですか。

A.大量生産・大量消費の現代社会の中で、あえて高品質の製品を少量生産することは、顧客に負担をかけず、また環境にも負担をかけないようにすることに寄与している。

Q2 私達のような若い世代がこの産業にもたらせるものについて教えて下さい。

A.若い世代には無限の可能性が秘められている。新しい発想はもちろん、同世代同士の「横の繋がり」も強くなるから、よりものづくり産業の振興に一役買ってくれると期待している。

### 企業情報

会社名：西原精工株式会社 連絡先：TEL:0736-73-5922  
代表取締役：西原 明秀 FAX:0736-73-6032  
住所：和歌山県紀の川市猪垣4-1  
ホームページ：<http://www.nishihara-seiko.co.jp/>

### 取材者・記事

桐蔭&近畿大学附属和歌山：  
岡崎礼紗 寺田侑史 山畑楓  
服部玲衣 早瀬稟太郎 原秀徳 廣田琉成  
福井夢叶 藤原茉友 前北悠志